



### 城址麓の墓石 (初代城主後藤弾正の墓と伝わる)

城址付近には、城に関する地名や墓石・井戸などが残されている。

寺脇城の築城については明確な記録を欠き明らかではない。鎌倉時代に後藤弾正・戦国時代に奥平信光が知られている。



### 船渡橋の戦い

永禄元年4月、織田信長の属将岩村城主遠山影任の軍が名倉に攻め込んできたとき、寺脇城主奥平松千代(のち信光)が防戦にあたり、船渡橋において激戦し遠山勢を退け数々の戦功を立て、今川義元から感状を受けた。

### 位置図



### 交通のご案内



### 設楽の山城



(名倉奥平氏の本城)

浜城

寺脇城址

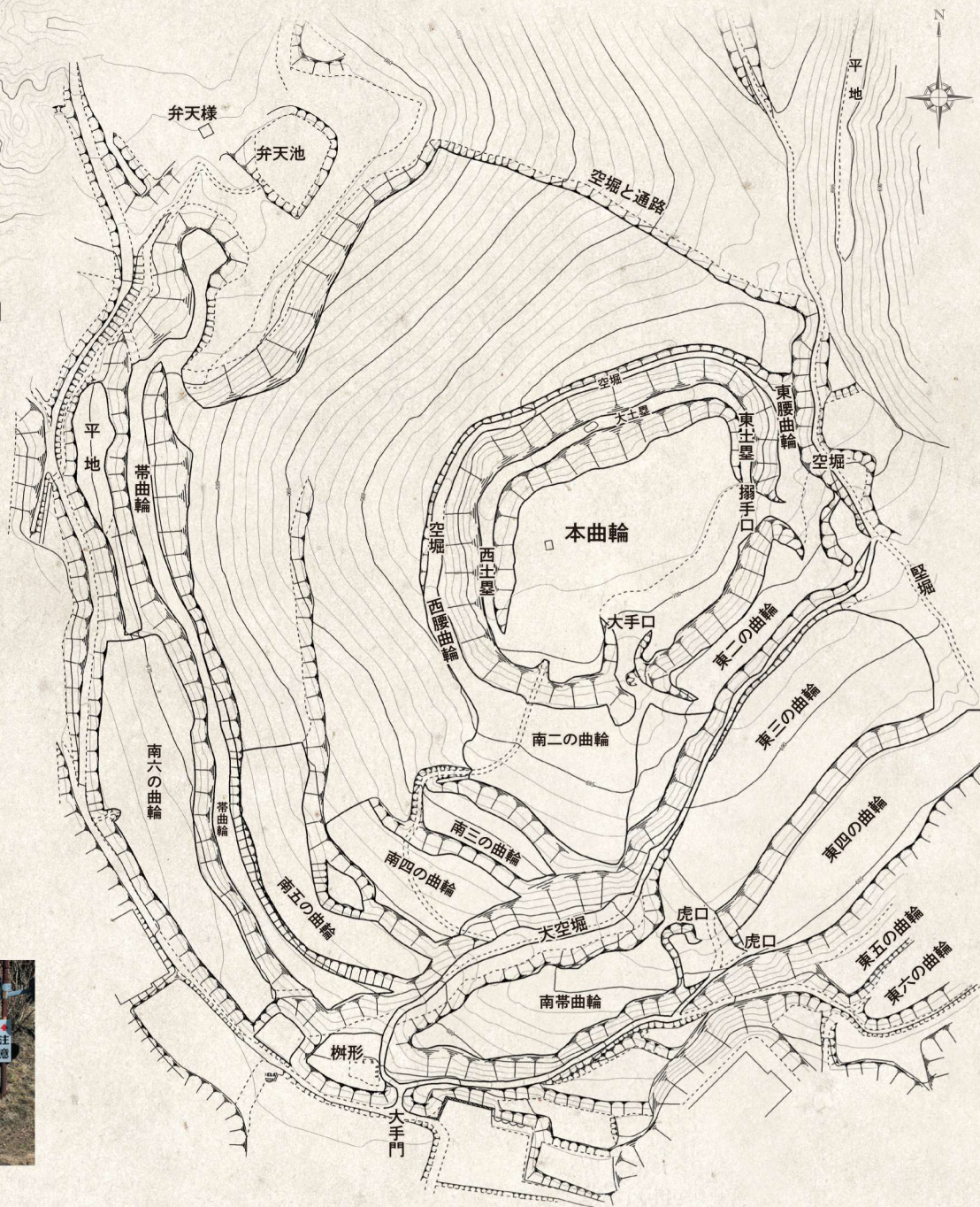
### 設楽町観光協会

〒441-2302 愛知県北設楽郡設楽町清崎字中田 17-7  
 ※2021年5月頃移転予定  
 〒441-2301 愛知県北設楽郡設楽町田口字辻前 14  
 TEL. 0536-62-1000 FAX. 0536-62-1332  
<https://www.kankoshitara.jp>



# 寺脇城址 (浜城)

## 縄張り図



寺脇城址と浜城址の全体図



城の入口



大空堀



本曲輪

## 城歴

**所在地** 北設楽郡設楽町東納庫字軒山一五番地 他  
 名倉川上流右岸の水田地帯、寺脇地区にある。  
 県指定八幡神社の北東約三〇〇メートルに位置する。  
 標高七〇メートル、比高二五メートルの丘陵地、約  
 一五〇メートル四方の規模で、本曲輪を中心に南と東  
 側に曲輪が広がり、土壘や空堀が残る。本曲輪約一〇  
 六八平方メートルの北側は大土壘が築かれ、その下に  
 空堀、そして急斜面が麓の池まで続く。  
 東側は搦手口と五段からなる東曲輪となる。南側は枡  
 形の大手口から、数段の南曲輪・大空堀、そして大手  
 門につながる。西側は大土壘と空堀、そして麓まで急  
 斜面がつづく。城址の北東部には、標高八八一メート  
 ル、比高約一八〇メートルの山頂に詰の城である、浜  
 城につながる登り口がある。

**城歴**  
 鎌倉末期に後藤弾正の居城といわれ、戦国時代に作手  
 奥平氏二代貞久の六男貞次が天文元年(一五三二)頃、  
 当地に分出し名倉奥平氏が本城とした。  
 二代喜八郎信光の時、慶長五年(一六〇〇)家康の四  
 男忠吉に属し、忠吉が尾張清州に封ぜられると、慶長  
 七年(一六〇二)頃、信光も清州に移ったといわれる。